

こども  
子供のインターネットバイブル  
あんない  
案内いたします

じんるい かな  
人類の悲しみのはじまり



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ  
改作者 M. Maillot; Tammy S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2009 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また きよか  
又はプリントは、許可されています。



かみ  
そうなのです。神さまが、すべてをつ  
くられたのですよ。神さまが、一ばん  
ひと  
はじめの人アダムをつくられてから、

つま  
アダムは、妻エバといしよに、  
その す  
エデンの園に住  
むようになり  
ました。



ふたり かみ

したが

二人は神さまに従って、

しあわ

まいにち

幸せいっぱいの日をすごしていま

した。ところが、

ひ

ある日のこと……。







ひと き  
ただし、一つの木か

いがい  
ら以外はね。」とエバ

こた み た  
は答えました。その実を食べても、さわって

し  
も、死んでしまうので す。」「あなた

し  
たちは、死にっこない

よ。」へビは、ニヤニヤ

わら い  
笑いながらこう言いま  
した。





「ただね、あなたた  
かみ  
ちは、神のようにな  
き  
るだけさ。」それを聞い  
み た  
たエバは、その実を食  
たくなりしました。そし  
み た  
て、とうとうその実を食  
べてしまいました。



かみ

エバは、神さまのことばにそむ

み た

き実を食べたあと、アダムにも

た

食べるようにすすめました。

アダムは、きっぱ

い

りところ言えばよ

かったのですね。





わたし た

「いや、私は食べないよ。

かみ

神さまのことば

にそむくよ

うなことはし

ない！」とね。





アダムとエバが、

つみ おか

罪を犯してしまったときです。かれらは、

ふたり

き

二人ともはだかであることに気がついたのです。





ふたり  
二人は、

は あ  
イチジクの葉をつなぎ合わせかんたん

ふく つく じぶん かみ  
な服を作り、自分たちのからだをかくし、神さまにわ

き ぎ  
からないようにそっと木々のしげみにかくれました。



ゆうがた

かみ

にわ ほう

夕方です。すずしくなっていて、神さまが、庭の方

かみ

にやってこられました。神さまはね、アダムとエバがしてしまったことをもうちゃんとわかっていらっしやったのですよ。アダムは、エバのせいだと

せ

責めました。



せ  
エバは、ヘビのせいだと責めました。

かみ  
そこで、神さまは、おっしゃいました。

おんな  
「ヘビは、のろわれよ。女は、  
こども う くる  
子供を生むのに苦  
しむだろう。」



「アダムよ、あなたは、<sup>つみ</sup>罪を犯してしまっ<sup>おか</sup>たの  
だから、地はイバラとアザミを生じ、  
<sup>ち</sup>のろわれるだろう。また、<sup>しょう</sup>毎日の  
<sup>しょくもつ</sup>食<sup>て</sup>物を手に入れるのに、<sup>あせ</sup>汗を流<sup>なが</sup>  
<sup>くる</sup>して苦しむよう  
なるだろう。」





かみ

神さまは、アダムとエバをそのす

にわ お だ

ばらしい庭から追い出されて

しまいました。





ふたり  
二人は、

罪を犯してし

いのち

かみ

まったから、命をくださった神さまか

ひ

ら引きはなされてしまったのです。

神さまは、もうだれも庭に入れ

ないように、炎のつるぎを作

られました。







それから、アダム

かわ うわぎ

とエバのために、けものの皮で上着を

つく

かみ

作られました。でも、神さまは、

かわ も

いったいどこから皮を持っ

てこられたの

でしょうね。



こども う

さて、しばらくしてアダムとエバに子供が生まれました

むすこ

たがや もの

た。はじめの息子カインは耕す者となりました。

むすこ

つぎの息子アベルは、

ひつじ

もの

羊をかう者

となりま

した。



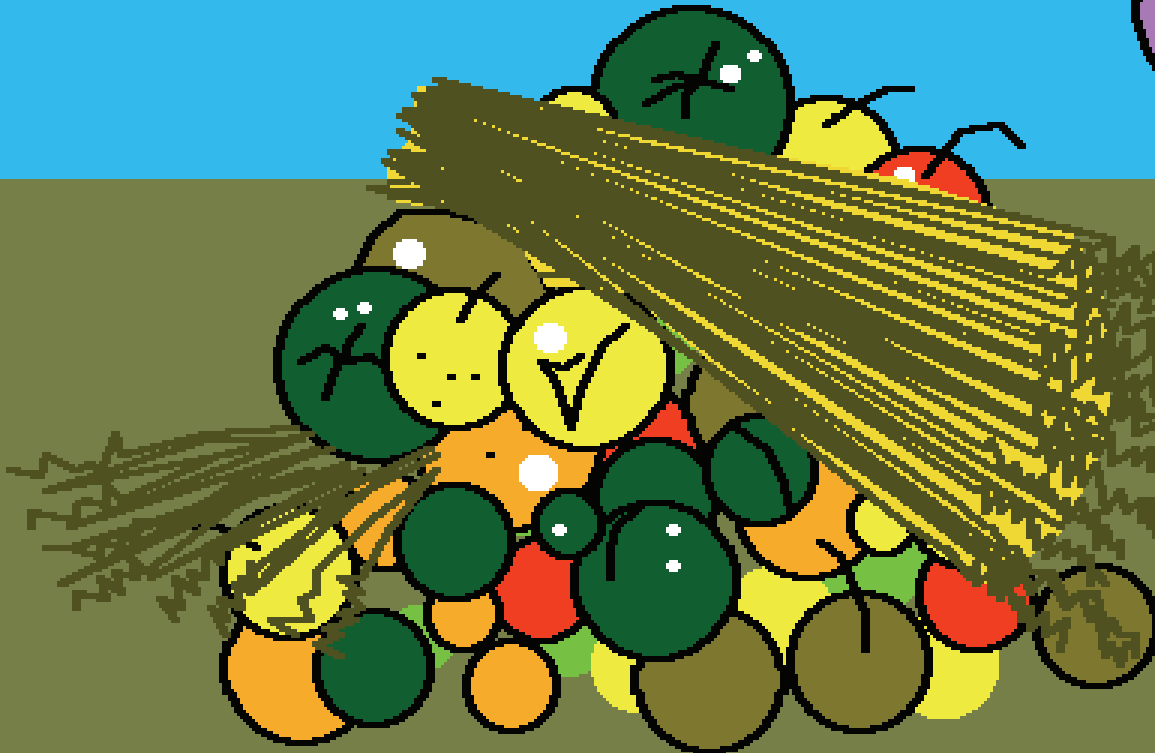
ある日のこと、カインは、<sup>かみ</sup>神さまに<sup>もの</sup>ささげ物として、  
<sup>やさい</sup>野菜を<sup>も</sup>持ってきました。また、アベルは、<sup>ふと</sup>まるまる太っ  
<sup>よ</sup>たいちば<sup>ひつじ</sup>ん<sup>も</sup>良い羊を持ってきました。ささげました。

<sup>かみ</sup>神さまは、

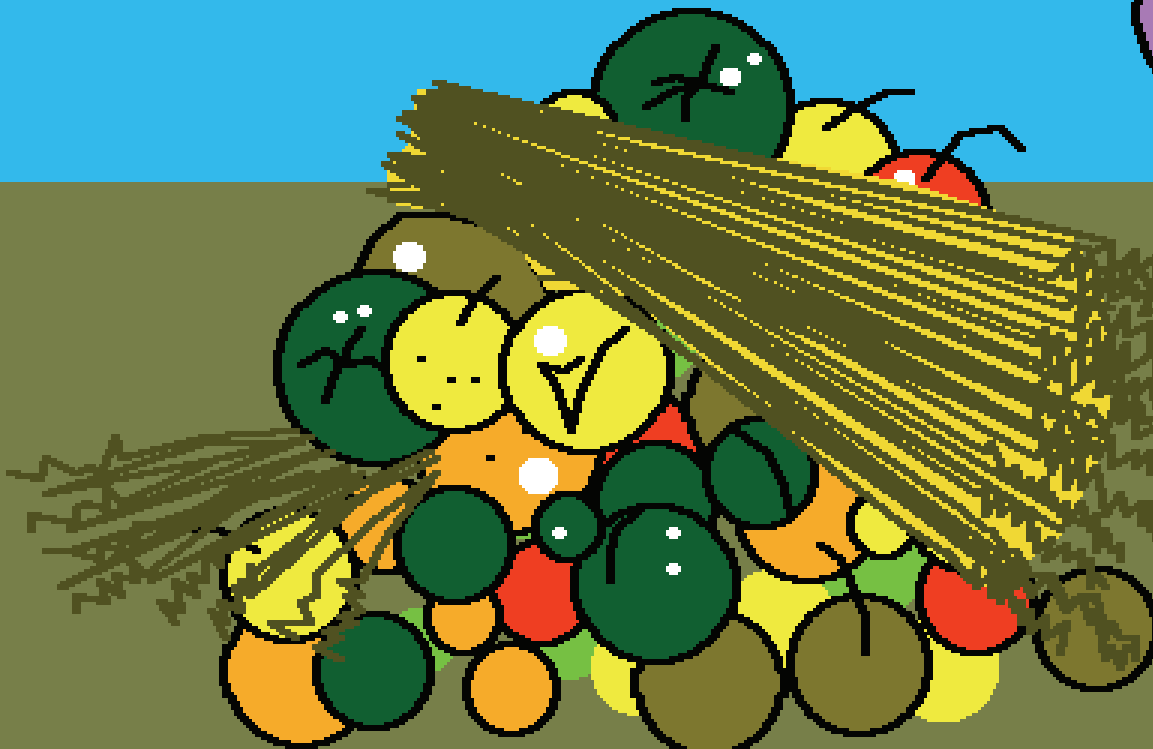
アベルの<sup>もの</sup>ささげ物を、たい  
そうよろこばれ  
ました。



かみ  
神さまは、カインのささげ物を、よろこばれませんでした。  
もの  
した。カインは、とても怒りました。  
おこ  
けれども、神さまは、こう言わ  
かみ い  
れました。



「カイン、もしあなたが<sup>ただ</sup>正しいこと  
を<sup>う</sup>やっているなら、受け入れられな  
<sup>い</sup>いことがあるだろうか。」



じぶん いか

カインは、自分の怒りをおさえることができません。

ひ

しばらくたったある日、カインは、と

のほら

うとうアベルを野原でおそいました。

そして・・・なんとアベ

ころ

ルを殺してしま

ったので

した。



かみ

はな

おとうと

神さまは、カインに話されました。「あなたの 弟、

アベルはいったいどこにいるのか？」 「さあね、私は

知りません。」と、カインはうそを

かみ

わたし

おとうと

ばんにん

つき「神さま、私は 弟 の番人  
でしょうか？」



い

かみ

ぼっ

と、言いました。神さまは、カインを罰して、

たがや

たがや

なに

さくもつ

耕しても耕しても何ひとつ作物がで

ち ある

きないようにされ、地を歩きまわる

ひと

“さすらう人” とされたのでした。

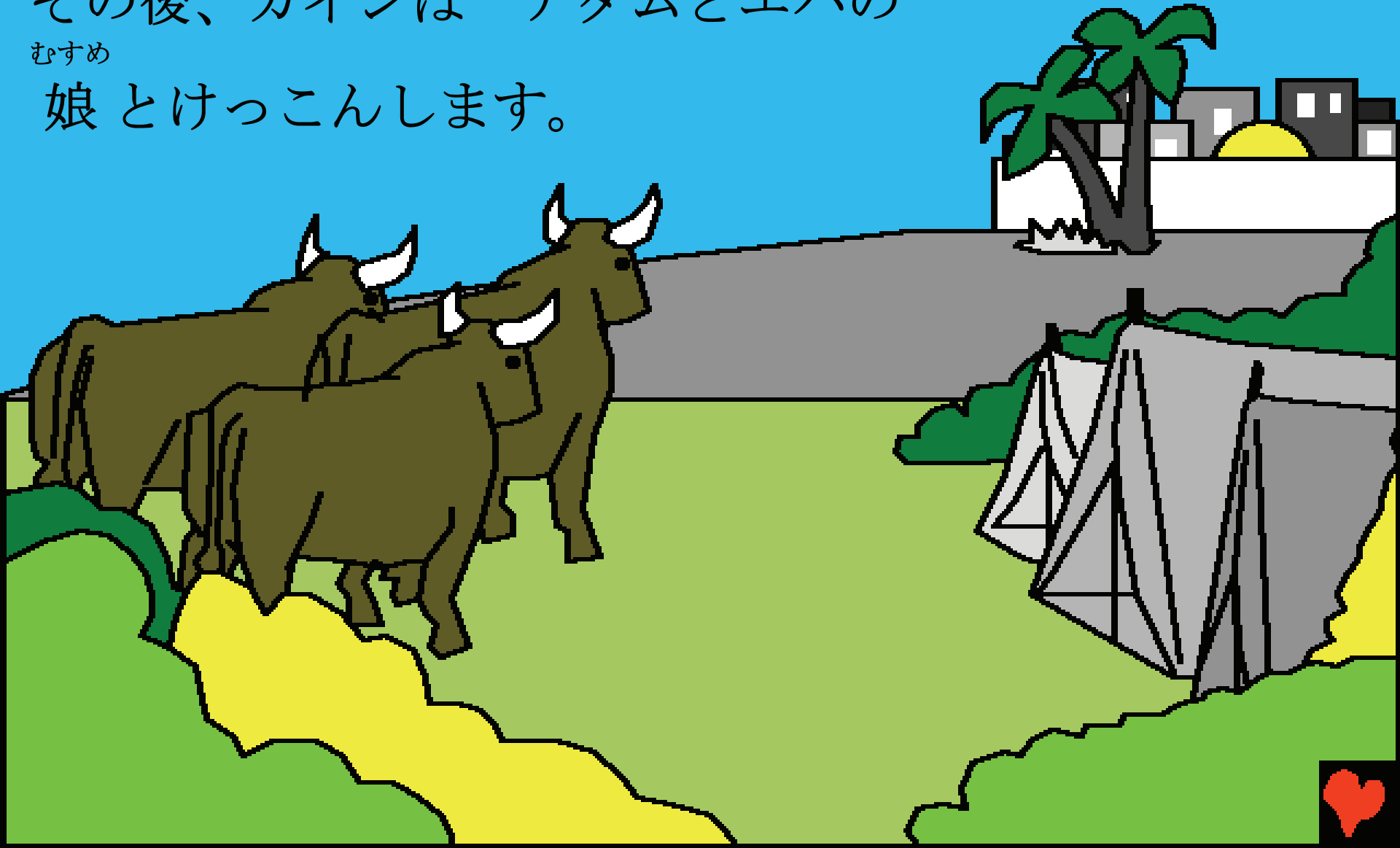




カインは、主なる神さまから、去っていきました。

その後、カインは アダムとエバの

娘とけっこんします。



かれらは、たくさんの子供たちを育てました。まもなく、カインのまごが生まれ、そしてひまごが生まれ、カインがつくった町は、

かれ  
もう彼の  
かぞく  
家族たちで  
いっぱいです。



かぞく

しばらくするうちに、アダムとエバの家族は、  
はや  
ものすごい速さでどんどん、  
どんどんふえつづけました。



ひとびと いま わたし

そのころの人々は、今の私たち

ながい

よりずっと長生きしたんですよ。



むすこ う とき い  
エバの息子セトが生まれた時、エバは、こう言いまし  
かみ わたし  
た。「神さまは、私たちにセトをくださ  
か  
いました。アベルの代わりですね。」



こころ

かみ

しん

ひと

ねん

セトは 心から神さまを信じる人でした。 912年も

い

こども

生きたのですよ。セトのたくさんの子供た

う

ちも生まれました。



とき せだい か  
時がすぎ、世代がつきつきと代わってい

あいだ ひとびと ところ  
きました。その間に、人々の心は、  
だんだんときたなくなり、



へいき わる  
平気で悪いこ  
とをするようにな  
りました。



かみ

けっしん

じんるい

神さまは、ついに決心されました。人類をほろ

ぼしてしまおう！そして。動物た

どうぶつ

ちも <sup>とり</sup>鳥たちもみんなほろぼ  
してしまおう。





かみ

ひと

神さまは 人をつくらなければよかった

かな

おも

かみ

と悲しく思われました。でもね、神  
さまをよろこばすことのできるた

ひとり ひと

った一人の人がいたのです。





さんにん むすこ かみ  
ノアは、三人の息子たちにも神さま  
したが おし  
に従うことを、教えました。



かみ

ひと

さて、ここで神さまは、ノアに一つのことを、

けいかく

計画なさいました。それって、

ほんとう

本当にふしぎな、そして、  
とくべつなことなのですよ！



じんるい かな

# 人類の悲しみのはじまり

かみ

み

せいしょ

しる

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき

しょう

しょう

## 創世記 3 章 - 6 章

み

ひら

ひかり

あた

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん

詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう  
い  
言ってください。

あい かみ わたし かみ しん ひと  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、わたし つみ な  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるして  
わたし いま いのち  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるといえるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子と  
して生きることが出来ますよう、たすけてください。アーメン

せいしよ かみ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ  
る福音書 3 : 16

